

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	JR利用促進対策事業			
予算科目	7 款 1 項 5 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 観光の振興			
所管課情報	担当課: 経済雇用戦略課		電話番号(内線): 572	
記入者情報	所属長: 靄岡 正直		担当責任者: 大谷 基文	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 26 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象				
根拠法令等				
事業の目的	市民及び観光客等の利用者の安全と利便性の向上に努め、JR等の鉄道利用促進を図る。			
事業の内容	施設改修及び整備等をとおして、市民及び観光客等の利用者の安全と利便性の向上に努め、鉄道利用促進を図る。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	0	29,624	14,720	29,452
	人件費	0	2,147	536	2,147
	合計	0	31,771	15,256	31,599
人件費 内訳	人工数	0.00	0.27	0.14	0.27
	人件費単価	0	7,954	3,977	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	0	2,147	536	2,147
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	31,771	15,256	31,599

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
観光入りこみ客数	人	1578143	1600000		1918694

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	3,200	0	0	0	0	3,200

成果指標				
成果指標	観光入りこみ客数			
指標設定の考え方	交流人口の増加を図る。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	1600000	1600000	0	0
実績	1578143	1918694	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	観光列車「伊予灘ものがたり」の運行に伴い、観光客および利用者が安心して利用できるようにJR伊予上灘駅のトイレ等の改修を行った。また、鉄道施設安全対策事業として、国(1/3)、県(1/6)、市(1/6)が補助金を交付し、JR予讃線向井原高架橋の高欄改修工事を行い鉄道利用の安全確保と施設の長寿命化を図れた。平成27年度からは、県内の沿線市町が負担して継続事業実施する方針となり、市の負担が軽減されることとなった。公共交通の安全確保のため、継続して実施していく。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	JR伊予上灘駅のトイレ等の改修により安心して利用していただくとともに、イメージアップにつながった。また、JR予讃線向井原高架橋の高欄改修工事により、安全確保と施設の長寿命化を図ることができた。観光振興のためにも、公共交通の安全確保のためにも、継続する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会抽出事業

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<p>・下灘駅がどこから入るのか、看板も非常に分かりにくい。市でやれることがあれば、やった方が良いと思う。 ・JRの利用促進ということであれば、事業費のごく一部でも何か利用を訴える施策を行ってほしい。 ・伊予灘ものがたりは走っているけれど、下りてもらわないとお金は落とさない。もっと市に考えてもらいたいと思う。 ・下灘駅の先の鉄橋をPRするなど、お客がこの海ルートを行かれるよう、考えてもらいたい。 ・下灘駅までのアクセスも附帯した課題と捉え、インフラの見直しや整備などにつなげていただきたい。 ・利用者2,000人以下の駅をJRが整備しないというのは知らなかった。言ってもらえば地元で何とかしないといけないという機運は生まれると思う。</p>
---------------------------	---

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>現状のまま継続する。</p>
<p>意見、課題</p>	